

令和4年度学校関係者評価シート(中間評価)

令和 4年 10月 31 日

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	A	<p>○地に足がついた目標、指標、計画である。</p> <p>○今年度から高校年度がスタートし前年実績がない中で熟慮され、適切な目標、指標、計画の設定がなされていると思います。</p> <p>○実績の少ない中で、目標、指標、計画は策定しにくいと思いますが、全体的に十分満足のいく内容であると思います。</p> <p>○IB プログラムの確実な実現のために、誠実で高い目標を立てて、具体的にこれを進められるような、計画的に取り組んでいけるような設定となっている。</p> <p>○明確な目標とそれに整合した指標と計画が立案されている。</p> <p>○短期経営目標3(1)では、寮則の厳守が強調されている。今後は、人権を尊重し、心身ともに健康で、ウェルビーイングな生活環境を作っていくために、寮則を守り、不断に改善していく姿勢の構築も期待したい。</p> <p>○短期経営計画4(1)では、働き方改革を通した子どもと向き合う時間の確保が強調されている。今後は、働き方改革を通して、教員が自己研修(研修・修養)や家族と向き合う時間の確保を通して、職務を充実させていくことも期待したい。</p>
計画の進捗状況の評価の適切さ	A	<p>○評価が若干低めなのではないか、と感じる。</p> <p>○アンケート結果に基づく客観的な評価がなされており適切に評価されていると思います。</p> <p>○順調であると思います。</p> <p>○自己評価の適切さということかと思うが、当該年度の行動計画に沿って一つずつその進捗を確認しており、適切な評価がなされているものと思う。</p> <p>○短期経営目標1(1)の評価が、A ではない理由が分からない。量的なデータではなく質的なデータで記述されているので絶対的な評価は困難だが、計画は着実に実行されており、目標達成の見通しは高いと思料される。</p>
目標達成に向けた取組の適切さ	A	<p>○一丸となって取り組んでいる様子が窺える。</p> <p>○今年度、「食」に関するトラブルが続いたことから、一部不安を感じている保護者もあり、取組が万全とは言えない部分がある。ただ IB 関連の情報発信など課題に対して適切に対応いただけており、全体的な取り組みについては好印象をもっています。</p> <p>○高い目標のレベルであり、適切に取り組んでいると思います。</p> <p>○取組の全てが目標達成に向けたものとなっていると思う。外的要因に左右される達成目標にも、たゆまず努力されているものと思われるが、広く生徒を募集していくためのさらなるアクションを進めて欲しい。特に、学習計画についての狙いや求めていく成果等を広く発信していただけたらと思う。一部評価分析の中で取組の不十分さを自己評価されているが、今後の構成員に対して不足部分を意識させた対応を考えているものと思慮する。</p> <p>○計画に基づいて適切に取組が行われている。</p> <p>○パーソナルプロジェクトで期待される成果が出ている。先輩がいない環境下で、教員も生徒も主体的にテーマを設定し、学際的な学びを遂行し、成果をまとめることができていることが確認できた。</p> <p>○入試関連の情報も、生徒と保護者に向けて定期的に発信されている。引き続き留学生を中心にきめ細やかな進路相談を行うことが期待される。</p>
評価結果の分析の適切さ	A	<p>○自己評価が厳しめだと感じる。例えば今回は MYP の最終年度なのだが、十分に目的に達していると感じたが、自己評価は B であった。</p> <p>○適切に分析出来ていると思います。</p> <p>○もっと評価を高くしてもよいと思います。</p> <p>○適切に分析されており今後の改善策につながっている。</p> <p>○評価結果について適切な分析が行われている。</p> <p>○「食事を残すことがある」については、多面的な考察を期待したい。分量、栄養バランス、カロリー等の目安はあるだろうが、中高生は身体の個人差は大きく、また多様な文化的な背景を持つ生徒が集まっている現実もある。残食を減らすことも大事だが、食べることができるものを必要な量を取って食べる、その際に栄養バランス等にも考慮するなど、様々な配慮が必要となってくるだろう。「出されたものは全部食べなさい」という指導体制ではないと推測するが、寮生活の中で食生活は心の安らぎをもたらす大事な時間なので、できるだけリラックスした環境づくりを期待したい。</p>

<p>今後の改善方策の適切さ</p>	<p>A</p>	<p>○振り返りというよりむしろ DP を始める年として、その計画をもう少し知りたかった。</p> <p>○内容は問題ないと思いますが、「コミュニケーション」「働きかけ」「機会を設ける」など、ある程度物理的に時間を要するのではないかとと思われる方策をあげていただいています。労働時間の短縮と相反する部分があり、今後の生徒数の増加や大学受験が近づいてくる中で、先生方の過度のご負担にならないように願います。</p> <p>○具体的に分かり易く記載されており、期待できると思います。</p> <p>○分析・評価に対して、改善すべき点や不足している点を満たしていくための適切な方策が検討されている。</p> <p>○分析結果に基づいて適切な改善方策が示されている。</p> <p>○MYP から DP への接続を図るための、さらなる研修の充実を図っていただきたい。とくに教員の異動が今後も継続的に行われることに鑑み、新規異動者に対して、貴校のビジョンや IB の教育論について、事前、1か月、3か月、6か月、1年、2年…とどのような研修を提供することが合理的なのか、校内の研修体制について研究を進めていただきたい。</p> <p>○MYP の完成に関わり、適切な自己評価を期待したい。MYP チーム会議において、4年間の成果と課題を整理し、次年度以降の指導体制の改善につながるような提言を出していただきたい。初めての完成年度ゆえに、重要と思われる。</p>
<p>総合評価</p>	<p>A</p>	<p>○4年間でここまでできたことに感銘を受けている。</p> <p>○計画、評価、方策といずれも適切なものと考えます。これまでコロナ禍で計画通りに実施できなかったものがあれば、今後の計画に加えていただくなど我慢を強いられてきた生徒たちへのご配慮をいただくと保護者としてはありがたいです。</p> <p>○全体的に自己評価を上げてよいのではと思います。内容・取組はレベルも高く、もっと自信をもった評価をしてはと思います。</p> <p>○一部自己評価にて対応できていない点や不足している点の指摘がなされている。しかし、国際バカロレア教育が教育活動の主たるツールであることが共有されており、学校のミッション、ビジョンの達成に向けて努力されているものとみる。教科横断的で探求的な学習活動の展開については教職員が一体となってその実現に力を入れていることがうかがえる。ルーブリック評価の理解度に差がありその取扱いが整理されていないという自己分析となっているが、発表生徒の発表内容からはこうした点はあまり見受けられず、教育効果にはそれほど影響がない些細な点ではなかったか、「問題ない」ことを指摘したい。アイデンティティ醸成に有効となる寮生活についても、学校として努力されている点がうかがえる。</p> <p>○学校の経営目標に基づいて、学校長のリーダーシップの下、適切に学校が運営されている。</p> <p>○学びの変革をけん引する県立学校として、貴校の取組が他校のカリキュラムや評価活動の開発に、あるいは研修体制・人材育成に示唆することをまとめ、効果的に発信いただきたい。</p> <p>○1期生の学びが4年経過すると、一人ひとりの個性的な能力が認められるようになったと推測される。またMYPとDPでは、教育の理念も異なると推察される。貴校のビジョンに基づき、一人ひとりの能力を十分に引き出す学習指導、進度指導、生活指導が行われ、DPが過度な精神的な負担にならないように、しかしDPを通してさらに生徒個々の能力を十全に引き出す方向(苦手を克服するよりも、得意を伸ばす方向で)でガイダンスが行われることを切に願います。</p> <p>「学びの変革」の目指すべき、モデル校として、取組が着実にできている。学園の取組を他校へ広げていくよう県教委と連携し、取り組んでいただきたい。</p>